

平成 22 年 5 月 1 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007 - 2010

課題番号：19520354

研究課題名（和文） ドイツ語における動詞範疇について

研究課題名（英文） About the verbal categories in German

研究代表者 野上 さなみ（NOGAMI SANAMI）

愛媛大学法文学部・人文学科・准教授

研究者番号：80325828

研究代表者の専門分野：ドイツ語学

科研費の分科・細目：言語学・言語学

キーワード：独語・言語学・アスペクト・意味論・語彙概念構造

1. 研究計画の概要

現代ドイツ語は、英語の進行形に相当する統語的形式が存在するにもかかわらず、その使用頻度の低さゆえに、スラヴ語やロマンス語と比べた場合、アスペクト（動詞の相）の概念が文法範疇として確立していない言語として捉えられている。つまり、現代ドイツ語のアスペクト概念は、様々な文法範疇や言語形式の中に分散した形で表現されている。本研究の目的は、これらの表現形式をできるだけ数多く抽出してそれを体系的かつ明確に示すこと、さらには、ドイツ語におけるアスペクト概念の使用頻度を低くしている原因を解明することである。

2. 研究の進捗状況

(1) 初年度に当たる 2007 年度には、具体的なデータを小規模なレベルで収集するために、特に英語とドイツ語の対照研究に力を入れ、英語の進行形で表現される意味内容が、ドイツ語に翻訳された場合にどのような方法や形式で表現されるのかを検討した。すなわち英語において不完了アスペクトの一種ととらえることができる概念がドイツ語で再現される場合に選択される表現形式を収集し、使われる形式の種類や傾向、さらにオリジナル・テキストの概念と再現の際に選ばれる形式の対応関係などを系統立てて整理することを試みた。この結果は、『5. 代表的な研究成果』に挙げている論文①によって 2008 年 3 月に発表することができた。

(2) 2008 年度後半から 2009 年度にかけ

ては、現代ロマンス語の 1 つであるフランス語とドイツ語の対照研究に力を入れた。「アスペクトの概念の再現」というポイントだけに固執することなく、アスペクトの概念が原因となって引き起こされる両言語の相違点に着目した課題を見出すことができ、計画にある課題から派生した研究課題に取り組むことができた。具体的には、フランス語・ドイツ語どちらにおいても完了形式を作る際に助動詞の選択を行わなければならない、この選択は本動詞の意味論的な性質に依存する。この意味論的な性質はアスペクトと密接な関係にある動作様態という概念である。2008～2009 年度にかけての研究成果は『5. 代表的な研究成果』に挙げている論文②によって 2010 年 3 月に発表することができた。

3. 現在までの達成度

③ やや遅れている

理由： (1) 2008 年 9 月に、当時の勤務先であった琉球大学において実施された「ドイツ海外文化研修」の引率担当者となり、その準備と研修本体および「研修後指導」のために 2007 年度後半から 2008 年度 12 月まで、就業時間のうちかなりの部分を奪われる結果となってしまった。そのため、事前に計画していたとおりには研究時間を確保することが困難であった。

(2) また、2009 年度には年度途中で琉球大学から愛媛大学へ転任したため、業務や居住条件の変化等が多々あり、研究になかなか集中しにくかったこと、また自身も体調を崩したこと、さらに実父が亡くなったために家族で対処しなければならない研究外の事柄が

非常に多かったことなどが重なり、予定通りの研究環境を確保することが難しかった。

4. 今後の研究の推進方策

『3.現在までの達成度』において「③やや遅れている」を選択したのは、分量的に当初の計画ほどに研究が進行していないためであり、取り組んできた各課題における成果はある程度上がっていると言えると思う。計画通りに研究時間を確保することが今後も困難であろうことが予想されるので、最初の計画で目標としていた複数の課題のうち、既に取り組んで成果を上げてきているものに焦点を絞りながら、これらに関する具体的なデータを増やし、さらに詳しい検討・考察を重ねる形で最終年度の研究を進める方針である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① 野上さなみ (2010) :
『ドイツ語とフランス語における複合時制の助動詞選択について』
ニダバ 39号 西日本言語学会編 p.21-30
査読あり
- ② 野上さなみ (2008) :
『ドイツ語の不完了アスペクトについて』
ニダバ 37号 西日本言語学会編 p.96-105
査読あり